

出来形管理基準及び規格値 第17編 農用地造成編

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値
17 農用地造成編	1 農用地造成	4 4 基盤工	3 4	4 2	基盤工 テラス(階段畑)	法勾配 S	指定したとき ● +2分 ● -1分
						幅 B_1	指定したとき ● -150
						耕起幅 B_2	指定したとき ● -150
						側溝幅 B_3	● -75
						側溝高さ H	指定したとき ● -75
17 農用地造成編	1 農用地造成	4 4 基盤工	3 4	4 2	基盤工 (改良山成)	基準高 V	指定したとき ● ±300
						法勾配 S	指定したとき ● ±1分
17 農用地造成編	1 農用地造成	6 畑面工	2	2	耕起工	耕起深 T果樹 野菜	● -75 ● -15
17 農用地造成編	1 農用地造成	6 畑面工	2	3	土壤改良材散布工	pH測定	指定したとき ● ±0.5
17 農用地造成編	1 農用地造成	7 道路工			道路工 (耕作道)	幅 $B_1 \sim B_2$	● -150
						厚 さ T	● -45
						側溝幅 $b_1 \sim b_2$	● -75
						側溝高さ H	● -75

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測定基準	測定箇所	摘要
テラス延長おおむね 100m 当たり 1ヶ所測定。		17-1-4-3 17-1-4-4
1. 基準高については切土部を 40mメッシュ地点で測定。 2. 法勾配については 40mメッシュ線と切土法尻との交点で測定。 (測定間隔はおおむね 40m)		17-1-4-3 17-1-4-4 切土部のみ対象とする
おおむね ha 当たり 10ヶ所測定するほか、つぼ掘り 2ヶ所/ha。		17-1-6-2
おおむね 50a 当たり 1ヶ所 (深さ 15cm)、改良材散布後 2週間以上経過して測定。		17-1-6-2 地表から 15cmの土壌を柱状に採取し、良く混合する。
施工延長おおむね 100m 当たり、1ヶ所測定。		17-1-7